

救いたい。一秒でも早く、一人でも多く。

ARROWS NEWS

2022
March



2022年も、新型コロナウイルスの感染力の強いオミクロン株の流行で大変な状況が続いています。私たちは大災害に備える訓練や準備を続けつつ、沖縄県から北海道の利尻島、果ては医療資源の乏しいパラオ共和国まで、国内外にスタッフを派遣してきました。それに加えて、医療・福祉施設の感染防護対策の支援、オンライン診療を使った都市部の自宅療養者の支援など、まさに最大限の力を、新型コロナウイルス感染症との戦いに注いでいます。また、今年1月のトンガ沖火山噴火、さらに2月のロシア軍によるウクライナ侵攻などの重大な災害、紛争も発生しています。私たちのそれらの活動について、報告します。



空飛ぶ
搜索医療団
ARROWS

Airborne
Rescue & Relief
Operations
With
Search

空飛ぶ搜索医療団は、大規模災害の被災地にいち早く駆けつけ、
救助・救命活動を行うために発足した、医療を軸とした災害緊急支援プロジェクトです。



支援活動の詳細については、ぜひホームページやSNSもご覧ください。
私たちARROWSの活動は、全国のみなさまのご支援・ご寄付によって支えられています。
ARROWSへの活動にご協力ください。

<https://arrows.red/>

空飛ぶ搜索医療団

検索



へき地から都市部へ——、 オンライン診療で オミクロン自宅療養者を支援

医師：稲葉 基高



医師：坂田 大三



空飛ぶ捜索医療団は、広島県の「オンライン診療センター」の立ち上げから運営に携わっています。



広島県オンライン診療センターの様子

私たちは以前より、へき地医療を支えるための対策として、オンライン診療の導入を検討していました。そして、新型コロナウイルスの流行により自宅療養者への診療という医療ニーズが高まったことにより、導入への取り組みがより加速しました。

新型コロナ第6波の渦中でオンライン診療の対象となっている自宅療養中の患者さんは、咽頭痛などの症状を訴える方が比較的多くいらっしゃいます。例えば、喉や頭が痛くて「水が飲めない」「食事がとれない」という状況が続いた場合、栄養状況が悪化し免疫が

低下することにより、重症化リスクが高まってしまうことが懸念されます。

しかし、コロナ陽性ではクリニックに薬をもらいに行くことはできないため、オンライン診療センターで薬局との調整を行い、患者さんの自宅にお薬を届けます。また、診察でも、電話ではなく画面を通して顔色や様子を知ることができることにより、解熱などの対症療法をしっかりと行えることで、きちんとした食事や睡眠がとれるようになり、早期の治癒が期待できるということもあります。

へき地でも広島市など都市部の自宅で療養する患者さんに対し医療従事者として応えられるよう、継続して対応の強化を図ってまいります。



へき地から診察にあたる坂田医師



OKINAWA
石垣島の高齢者施設で

北から南まで、全国で活動。

クラスターが発生した北海道利尻島にある高齢者施設へ准看護師兼救命士1名を派遣。既に支援を開始している沖縄県では追加支援として、本島に加え石垣島での支援活動にあたりました。



HOKKAIDO
利尻島に隊員が到着した様子



パラオに届けた支援物資



ER(救急外来)で支援にあたる北川看護師

「国境を越えて困ったときに助け合う」 パラオへ緊急医療支援

ピースウィンズ・ジャパン 看護師：北川 光希



パラオ共和国で新型コロナウイルス感染が拡大し、パラオ保健省からの要請を受けて、2月7日、医師2名、調整員2名とともにパラオ共和国に現地入りしました。私は看護師として、手始めにマンパワーが不足しているコロナ検査センターで業務を開始しました。人口約18,000人のこの国で約12人に1人が陽性となっています。実際に検査センターに入ると陽性率の高さを実感し、オミクロン株の感染力の高さに驚きます。

また、医師とともに病院のER(救急外来)での勤務も行いました。パラオでは、医療スタッフも多くなりがちですが陽性となり人員が不足している上、これまでフィリピンや台湾に搬送していた重症患者がコロナ流行後搬送停止となったこともあり、通常医療が切迫している状況でもありました。一日当たりの感染者数は少しずつ減りつつあるパラオ

ですが、依然コロナは猛威を振るっています。コロナだけではなく、受診が滞ることでコロナ以外の慢性疾患(がん・糖尿病・循環器疾患など)が悪化するなど、弊害も多く生まれています。特に受診が難しい離島住民に手が届いていない現状があり、私たちは、病院と協力し、離島への巡回診療も開始しました。巡回診療では、コロナの検査はもちろん、コロナ以外の診療を行う予定です。

その他、チャーター便で届けたPCR機器を用いて検査体制を整えることで、大幅な検査速度の向上も期待されています。

日本国内も大変な状況ではありますが、引き続き、国内・国外共に私たちだからこそ出来る人道支援に真摯に取り組んでいきたいと思えます。

ARROWS SUPPORTER

支援プログラム「ARROWSサポーター」のご紹介

1日33円(月額1,000円)から気軽に始められる
継続支援のプログラム「ARROWSサポーター」を通じて、
ぜひ緊急災害支援プロジェクトを支えてください!



ARROWSサポーターの
お申し込みはこちら

<https://arrows.red/donation/>



**ARROWSメディカルサポーターも
募集を開始しています。**

メディカルサポーターは、医療従事者向けの制度で、一般サポーターと同様の仕組みですが、医療従事者に特化した情報の配信や医療支援のお願いをする場合があります。

SUPPORTER

サポーターの皆さまには、会員証の発行や活動報告、LINE公式アカウントへの招待をいたします。

トンガ 火山噴火

コロナ禍にも負けず、 私たちの支援物資が届けられました。



トンガのファアモツ国際空港にて



噴火後1ヶ月のヌムカ島の様子

南太平洋の島国トンガ沖の大規模火山噴火。新型コロナウイルスの感染が拡大し、ロックダウンしたトンガへの支援は困難を極めました。2月14日および15日、小型機を使い支援物資を届けることが出来ました。

空港敷地内で引き渡した物資は、新型コロナウイルス持ち込みを防ぐため、倉庫で72時間保管されます。その後、提携団体を通して、政府の支援が届きにくい離島で被害にあわれた方々へお渡ししています。

今後は船での物資支援に加え長期的な復旧・復興支援を念頭に、火山灰と津波の影響でダメージを大きく受けた農業や漁業の支援をしていく予定です。

主な支援物資

- 食料品や長期利用可能な家族用の浄水器（電源不要）
- コロナ感染拡大に備えるマスクや消毒液
- 子どもが遊べるボール
- 蚊取り線香
- 浄水タブレット等



空飛ぶ捜索医療団 "ARROWS" が提供する 「あなたにもできる災害医療の基礎」

Youtubeのシリーズ動画でお届けしています。ぜひご覧ください。



本プロジェクトの
スポンサーについて

この講座は、「体にフィットする魔法のビーズソファYogibo」の日本総代理店である株式会社ウェブシャークが提供する「TANZAQ」プロジェクトがスポンサーとなり実施されます。

◆Yogibo Social Good : <https://bit.ly/3nyVefb>

※クーポンコード「ARRW」を入力して購入すると、売り上げの5%がARROWSに広告費として支払われます。



国内外で豊富な災害支援の経験を持つピースウィンズ・ジャパンを核に、
姉妹団体のCivic Forceをはじめ多くの組織が力を合わせます。

発行 特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン

〒720-1622 広島県神石高原町近田1161-2 2F ☎0847-89-0885(代) 📠0847-82-2949